

SYLLABUS  
シラバス  
令和8年度前期

視能訓練士科 3年次

医療法人社団 慈恵会  
神戸総合医療専門学校

視能訓練士科 教育課程（令和8年度前期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
生物学	2	30	1	前期	視能矯正学演習Ⅱ	1	30	2	前期
情報科学	1	15	1	前期	視能矯正学演習Ⅲ	1	30	2	前期
医用英語	2	30	1	前期	視能矯正学演習Ⅳ	1	30	2	後期
心理学	2	30	1	前期	視能障害学Ⅰ	1	30	1	後期
人間関係論	2	30	1	前期	視能障害学Ⅱ	1	30	2	前期
令和8年度前期	1	15	2	後期	視能障害学Ⅲ	1	30	3	後期
キャリア教育Ⅰ	1	15	2	前期	神経眼科Ⅰ	1	30	2	前期
キャリア教育Ⅱ	1	15	2	後期	神経眼科Ⅱ	1	30	2	後期
保健体育Ⅰ	1	30	1	前期	眼薬理学	1	30	2	前期
保健体育Ⅱ	1	30	1	後期	視能訓練学Ⅰ(斜視)	1	30	1	後期
基礎医学Ⅰ	2	30	1	前期	視能訓練学Ⅱ(弱視)	1	30	2	前期
基礎医学Ⅱ	2	30	1	後期	視能訓練学各論Ⅰ	1	30	2	後期
人間発達学	2	30	1	後期	視能訓練学各論Ⅱ	1	30	2	後期
保育学	2	30	1	前期	視能訓練学Ⅰ演習	1	30	2	後期
臨床医学Ⅰ	1	15	2	後期	視能訓練学Ⅱ演習	1	30	2	後期
臨床医学Ⅱ	1	15	2	後期	視覚リハビリテーション(理論)	1	15	2	前期
臨床心理学	2	30	2	前期	視覚リハビリテーション(実践)	1	30	2	前期
精神衛生学	2	30	2	後期	視能訓練学特論Ⅰ	1	30	3	前期
医療統計学	1	15	2	前期	視能訓練学特論Ⅱ	1	30	3	後期
視能学概論	1	15	1	前期	臨地実習Ⅰ	1	45	1	後期
医療安全管理論	1	15	2	後期	臨地実習Ⅱ	1	45	2	後期
視器の解剖生理Ⅰ	2	30	1	前期	臨地実習Ⅲ	14	630	3	前期
視器の解剖生理Ⅱ	2	30	1	前期	視能学特論Ⅰ	1	30	1	前期
視覚情報処理学	2	30	1	後期	視能学特論Ⅱ	1	30	2	前期
視能検査学総論	2	30	1	前期	総合視能訓練学演習Ⅰ	1	30	1	後期
社会福祉学	2	30	1	後期	総合視能訓練学演習Ⅱ	1	30	2	後期
公衆衛生学	2	30	2	前期	総合視能訓練学演習Ⅲ	1	30	3	前期
専門職連携論	1	15	2	後期	総合視能訓練学	3	90	3	後期
保健医療と福祉	1	15	2	後期					
特別支援教育概論	1	15	2	後期					
基礎視能矯正学Ⅰ	1	30	1	前期					
基礎視能矯正学Ⅱ	1	30	1	後期					
基礎視能矯正学Ⅲ	1	30	2	前期					
幾何光学	1	30	1	前期					
生理光学Ⅰ	1	30	1	前期					
生理光学Ⅱ	1	30	1	後期					
生理光学Ⅲ	1	30	2	前期					
視覚生理学Ⅰ	1	30	1	後期					
視覚生理学Ⅱ	1	30	1	後期					
視覚生理学Ⅲ	1	30	2	前期					
基礎視能矯正学特論Ⅰ	1	30	3	前期					
基礎視能矯正学特論Ⅱ	1	30	3	後期					
生理光学Ⅰ演習	1	30	1	前期					
生理光学Ⅱ演習	1	30	1	後期					
生理光学Ⅲ演習	1	30	2	前期					
視能検査学Ⅰ	1	30	1	後期					
視能検査学Ⅱ	1	30	2	前期					
視能検査学総合演習	1	30	2	後期					
眼科画像解析学	1	30	2	後期					
視能矯正学演習Ⅰ	1	30	1	後期					

# 令和8年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎視能矯正学特論 I		演習	谷口 誠典・荻野 綾	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
直近に実施された視能訓練士国家試験過去問を解き、各分野の基礎知識を定着させる。またグループ学習によって、互いに理解を深め合い、クラス全員で一冊の解説集を作成することを目標とする。				
授業の到達目標				
国家試験過去問を出題者の意図を汲み取って回答することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験過去問①			
2	国家試験過去問① 答え合わせ			
3	国家試験過去問①のグループ演習			
4	国家試験過去問①のグループ演習			
5	国家試験過去問①のグループ演習			
6	国家試験過去問①のグループ演習			
7	国家試験過去問②			
8	国家試験過去問② 答え合わせ			
9	国家試験過去問②のグループ演習			
10	国家試験過去問②のグループ演習			
11	国家試験過去問②のグループ演習			
12	国家試験過去問②のグループ演習			
13	国家試験過去問 解説集作りの説明と担当決め			
14	国家試験過去問 解説集作り			
15	国家試験過去問 解説集作り			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	100%	課題プリントにて評価する。評価基準は別途示す。		
小テスト				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能訓練士セルフアセスメント第43～48回視能訓練士国家試験問題集	丸尾敏夫・久保田伸枝 編	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				

# 令和8年度シラバス

## 視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能訓練学特論 I		講義	谷口 誠典・山寄 統子・荻野 綾	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
これまで習得した知識の再確認と臨地実習Ⅲに備えて実習生が知っておくべきポイントを伝えます。				
授業の到達目標				
各分野の知識を定着させる。				
授業計画				
回	内容			
1	基礎視能矯正学① 視覚生理 (谷口)			
2	基礎視能矯正学② 生理光学 (谷口)			
3	基礎視能矯正学③ 両眼視機能と眼球運動 (谷口)			
4	視能検査学① 眼科一般検査 外眼部検査～隅角検査 (荻野)			
5	視能検査学② 眼科一般検査 涙液検査～眼圧検査 (荻野)			
6	視能検査学③ 眼科一般検査 OCT～眼窩画像検査 (荻野)			
7	視能検査学④ 眼科薬理学 (荻野)			
8	視能障害学① 眼疾病学 眼瞼～緑内障 (谷口)			
9	視能障害学② 眼疾病学 ブドウ膜～網膜 (谷口)			
10	視能障害学③ 神経眼科学 (谷口)			
11	視能障害学④ 疾患まとめ (谷口)			
12	視能訓練学① 斜視 (山寄)			
13	視能訓練学② 弱視 (山寄)			
14	視能訓練学③ 心因性、眼振 (山寄)			
15	視能訓練学④ ロービジョン (山寄)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
視能訓練士国家試験合格ノート 第2版	小林義治・松岡久美子 編		文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				

# 令和8年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨地実習Ⅲ		実習	谷口 誠典	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
630 時間 ( 14 単位)		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
各6週間の実習を3施設で行います。各医療機関の特色や地域での役割を理解するとともに眼科医師や視能訓練士のもとで眼科一般検査などを実際に患者へ実施し、実践に即した知識と技術を習得することを目的とします。				
授業の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨地実習施設において実習生として相応しい態度、言葉遣いができる。</li> <li>2. 患者の症状から適切な検査等を選択することができる。</li> <li>3. 基本的な検査等を安全に実施することができる。</li> <li>4. 教科書、文献などを参考に適切な実習記録を作成することができる。</li> </ol>				
授業計画				
回	内容			
1	臨地実習ガイダンス 実習事前評価			
2	臨地実習 1 施設目			
3	臨地実習 振り返り			
4	臨地実習 2 施設目			
5	臨地実習 振り返り			
6	臨地実習 3 施設目			
7	臨地実習 振り返り			
8	実習報告会			
1単位 (45時間) 臨地実習前後到達度評価				
13単位 (585時間) 眼科医療施設実習3カ所合計 520時間 (休憩時間を除く) 自己学習 65時間				
総合計 630時間				
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	実習施設における評価、振り返り・報告会における課題プリント、提出物により評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				

## 令和8年度シラバス

## 視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
総合視能訓練学演習Ⅲ		演習	谷口 誠典・山寄 統子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
これまで習得した様々な検査の手順を再確認し、各検査の要点の再確認を行う。				
授業の到達目標				
症例に応じた各検査の要点を理解し、検査できる。				
授業計画				
回	内容			
1	検査演習（GP）実習時のヒヤリハット			
2	検査演習（GP）課題①			
3	検査演習（GP）課題②			
4	検査演習（GP）課題③			
5	検査演習（視力、眼圧、HFA）			
6	検査演習（視力、眼圧、HFA）			
7	検査演習（視力、眼圧、HFA）課題レポート作成			
8	検査演習（視力、眼位、立体視）			
9	検査演習（視力、眼位、立体視）課題レポート作成			
10	検査演習（Hess、OCT、眼底カメラ）			
11	検査演習（Hess、OCT、眼底カメラ）課題レポート作成			
12	検査演習（スペキュラー、コントラスト視力、眼軸長測定）			
13	検査演習（スペキュラー、コントラスト視力、眼軸長測定）課題レポート作成			
14	検査演習（中心CFF、色覚検査、眼球突出度測定）			
15	検査演習（中心CFF、色覚検査、眼球突出度測定）課題レポート作成			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	90%	課題プリントにて評価する。評価基準は別途示す。		
小テスト				
その他	10%	実習に取り組む姿勢を評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				